

伊勢崎市と子どもの未来を考える

ただみゆる

多田稔政策レポート 2009年 2号



特集:

子どもの医療

子どもたちの命を守る

全国で救急窓口の小児科医が何人も過労死！

群馬の小児医療も崩壊が進む

館林市では、救急車で運ばれる子どもを受け入れる病院が一つもない

館林厚生病院や総合太田病院では産婦人科医不足により、出産さえできない

伊勢崎の小児医療は綱渡りの状態

みなさん、こんにちは！多田稔の政策レポートをお読みいただきありがとうございます。伊勢崎市と子どもたちの未来について真剣に考え、提言させていただきます。

子供たちの命を守る！

子どもの医療費の無料化が、伊勢崎市をはじめとする県内の自治体で行われています。

目的は、子育て世帯の負担の軽減であり、子どもたちが安心して必要な医療が受けられるよう医療費の自己負担金を、県と市町村で負担する制度です。

基本的には私も賛成です。しかし、その財源は税金であり、その政策的効果及び施策の優先順位などの観点から、現在のままでは、次のような問題点があります。

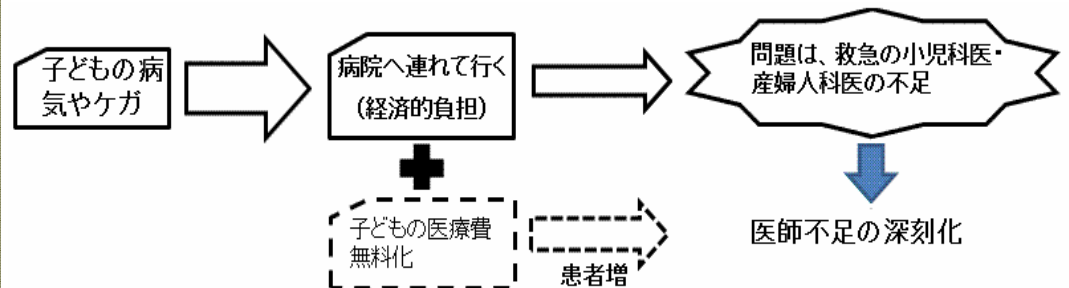
子どもの医療費無料化施策は、子どもを病院へ連れて行き、治療を受けると

いう小児医療全体の中で、病院へ連れて行くという一部分しか応援していません。

※子どもの医療費無料化<施策内容>

- ・保護者の所得制限及び自己負担なし。
- ・入院・通院とも対象。
- ・対象範囲は今年の10月から中学校卒業まで拡大。

問題は小児科医、産婦人科医の不足



子どもの医療費を無料化しても、肝心の救急の小児科医や産婦人科医が不足しています。全国で救急の小児科のドクターが何人も過労死されています。そして少なくなった窓

口へ患者が集中する結果、また医師が辞めていくという悪循環が起こっています。行政が、小児救急の医師を十分に確保しないまま、医療費

の無料化を推進すれば、更に患者が集中し、子どもの命を守るといふ政策目的とは反対に、更に小児科の医師が辞めてしまう恐れさえあります。

無所属

ただみのる
多田 稔
プロフィール



5月5日生 45歳

- ◇住所:伊勢崎市
- ◇職:元県庁職員
土地改良課
中央児童相談所
消防防災課
青少年子ども課
職業能力開発課
精神医療センター
地域政策課
- ◇学歴
国立高知大学卒
高崎経済大学
大学院卒
(地域政策学修士)
- ◇経歴
主任児童委員
(民生児童委員)
元坂東小学校
PTA会長
坂東小学校学校
評議員
樹徳高等学校
後援会理事
- ◇参加団体等
行政経営フォーラム
経営委員
構想日本仕分け人
日本熊森協会
伊勢崎支部長
- ◇資格等
日本サッカー協会
公認指導者
審判員
- ◇パトロール実施者
(青色パトカー)

群馬の小児医療の崩壊

ホームページによれば、館林厚生病院では3年前からお産ができません。更に今年の4月からは常勤の小児科医が一人もいないのです。

そのため館林地域の子ども達は救急車で運ばれても、受け入れる病院が市内に一つもありません。館林地域では、こども

も達は救急車で県外にまで搬送しなければ治療さえ受けられないのです。

太田市にある総合太田病院では、産婦人科の医師不足により、昨年4月から分娩休止に追い込まれています。

伊勢崎市民病院では、現在救急の子どもの受け入れも、病

院でのお産も可能です。しかし、絶えず小児科医と産婦人科医を募集しており、**伊勢崎の子どもの命を守る小児医療は、かろうじて保たれる綱渡りの状態です。**



所得の再分配に逆行

子どもの医療費助成におけるもう一つの問題は、「保護者の所得制限がない」ことです。

行政の役割の一つに、**所得の再分配機能**があります。世の中には、非常に所得の多い方もいれば、逆に少ない方もいらっしゃいます。

しかし、そのままほっておいては、社会がうまく回りません。そこで、みんなで税金というお金を出し合い、社会全体で支え合いましょう、というのが「所得の再分配」機能です。

冷静に考えてみれば、**子どもの医療費を払うのは、子ども自身でなく保護者**です。税金からお金を補助するのに、保護者の所得を一切考慮しないで分配するやり方は、社会として限りある税金の使い方として、大いに疑問です。

税金の使い方の優先順位

子どもの医療費のためとはいえ、高額所得者にまで補助する前にもっと優先順位の高い税金の使い道があるはずで

す。例えば、肝心の救急の小児科医や産婦人科医の確保は、もっと優先すべき課題

です。行政のやっている事業は、社会的に必要な仕事ですが、その財源は税金であり、限りがあります。

あれも重要、これも必要と言って、無制限に借金を増やしていくことは許され

ません。当たり前のことですが優先順位をつけなくてはなりません。「あれもこれも」ではなく、「あれかこれか」を吟味し、政治として合意形成していくのが議会の役割と考えます。

ご意見、ご感想をお待ちしています。

多田稔事務所 〒372-0833 伊勢崎市富塚町248-16
TEL&FAX 0270-31-3412 Mail:kucc-ta@mbn.nifty.com
ブログ 多田稔の明日へのブログ(毎日更新中)